

先輩
保護者の
体験談付き!

\\こんなにかかるの!?!\\

進学マナー

—今どきの費用と調達法—

大学・専門学校などへ進むためには、どれくらいかかるのか…、親子で進学費用を調べたり、話し合ったことがありますか？「まだまだ先のこと」と思っている、高校3年間はあっという間で、気づいたときは受験の目前！そうなったら、保護者ができることは限られてしまいます。しかも、大学などの入学前後には思わぬ出費が発生することも多く、その資金の工面に慌てることも少なくありません。先輩保護者の負担した費用や体験談を参考に、高校1年のうちから、少しずつ情報を集め、準備を始めてはいかがでしょう。



構成・取材・文／インタープレス(光田洋子、三浦美紀)

わが家の進学マナー 関心度チェック ※当てはまるものに☑を入れてください。

- 高校卒業後の進学先について子どもと話し合うことがある
- 大学生などがある家庭から、進学費用の話聞いたことがある
- 家計に占める現在の教育費の割合は、ほぼ把握している
- 大学費用などは子どもが幼い時からコツコツと準備している
- 私立大学生にかかる年間費用は、だいたい予想がついている
- 中学・高校などの受験では、複数校を受験した経験あり
- 進学先が遠方になり、仕送りが必要になる可能性もあると思う
- 高校1年の子ども以外の兄弟の教育費が心配
- 奨学金(貸与型)や教育ローンはできれば利用したくない
- 高校卒業後は、学費以外のお金はどこまで面倒をみるべきか悩む

結果 ☑のついた数が

- 7つ以上の人 …… 進学マナーに関心は高く、なんとか準備ができるタイプ
- 4~6つの人 …… 多少の関心は持っているが、情報収集はこれから
- 3つ以下の人 …… 今はまだ関心が低いので、このままでは先々困ることも

どんな結果でも大丈夫。この記事を参考にこれから準備を始めよう!

まずは
ここから
チェック!

進学マナー01

進学先別・ 学校にかかる費用と総額

進学コースによって
年間にかかる費用は大違い

高校1年生の場合、高校卒業後の進路については、まだ不確定な要素が多いことでしょう。しかし、子ども一人にかかる教育費が平均1000万円前後といわれる今の時代、この金額の半分以上は高校卒業後の進学先でかかることを覚悟しておきましょう。

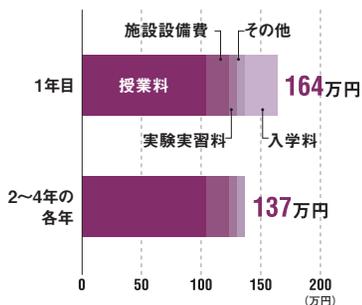
しかも、進学する学校や学部によって、かかる費用は百万円単位で違ってくることもあります。まずは進学コース別にかかる学校納付金の平均額と、卒業までにかかる総額の目安を下段でチェックしてみてください。

グラフの金額は、初年度と2年目以降にかかる学校納付金の年間平均額です。国公立大学の場合、大学ごとに決められた入学金・授業料は学部・学科に関係なく同じです。地域による違いもほとんどありません。

しかし、私立大学の場合は選んだ学部によって、平均額にも大きな違いが出ています。授業料、施設設備費、実験実習料といった部分の学校納付金が、学部によって異なるからです。比較的負担が軽いのは文学・教育・法・商・経済などの文系学部で、理工系学部はやや高め。それより高いのが美術・音楽など

私立理系コース

合計**575**万円



文系より年間費用は高くなかでも薬学部はダントツ

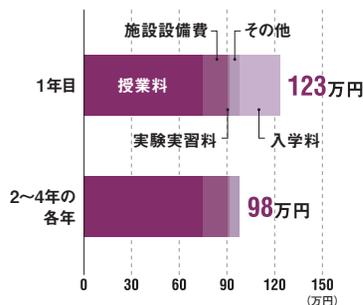
理系は総じて文系より高めですが、学部別に見た初年度納付金は、理工学部が155万円、農・獣医学部が152万円。薬学部が220万円と最も高額で、修学年数は6年のため、納付金だけで計1000万円以上。教科書代や指定のパソコン購入費も高く、実習施設のあるキャンパスが遠方で交通費がかかるケースもあります。

4年間の総額の目安

600万円～700万円

私立文系コース

合計**417**万円



初年度の平均は123万円
2年目以降は約100万円

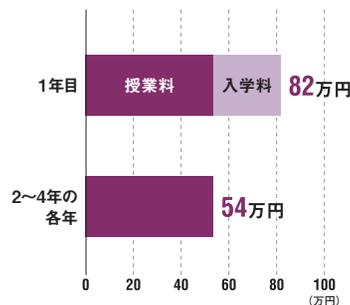
私立文系の平均額は上のおりですが、大学ごとに見ると納付金額はさまざま。教育充実費など、徴収されるお金の名称も大学によって異なります。学部や学科によっては、セミナー旅行が海外だったり、公務員試験用の特別講座の費用がかかることも。民間スクールや短期留学で、数十万円の出費増になることもあります。

4年間の総額の目安

500万円～600万円

国公立コース

合計**244**万円



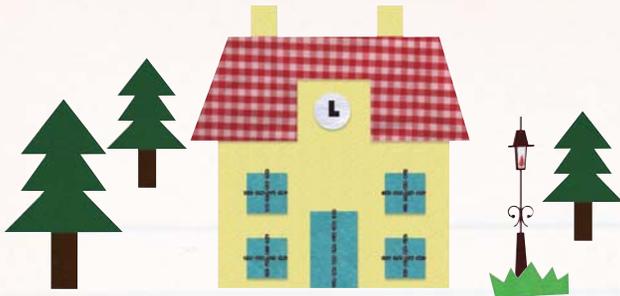
どこの大学でもほぼ同じ金額。
受験費用のかけ方がポイント

現在は大学ごとに学費を決められますが、ほとんどの大学の納付金は上の平均額と同程度。大学によって、諸経費などがかかる場合もあるので、入試要項などで事前に確認しておく安心。公立大学もほぼ同じですが、地元在住者には入学金を安くする大学も。私立併願の受験料や通学費用などで、親の負担に差が出てきます。

4年間の総額の目安

300万円～400万円

※グラフは、私立大学は平成23年度入学者の初年度学生納付金平均額の調査(文部科学省)、専門学校は平成24年度学生・生徒納付金調査結果(東京都専修学校各種学校協会)、国立大学は平成24年度の標準額から作成(すべて昼間部)。



の芸術系学部。医歯系になると、1年間にかかる費用が他の学部の4年間の費用よりも高く、卒業までの6年間はケタ違いの学費がかかります。薬学部も6年間の場合が多く、合計は平均1000万円を超えます。

初年度に支払う納付金は受験までには必ず用意

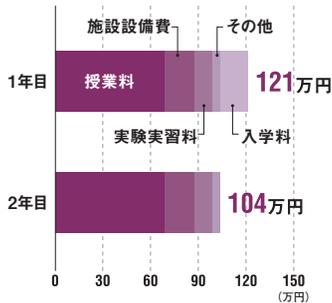
学校納付金以外にも、教材費や通学費用など、学校関連でかかる費用はさまざまあり、それらを含めた在学費用の総額が下段の金額です。これらを目安に、できる範囲で少しずつ準備を始めてみましょう。ただ、高校卒業までに必ずしも全部を用意できなくてもかまいません。在学にかかる費用の一部は、家計の中から捻出したり、奨学金などで賄う方法もあるからです。

とはいえ、最低でも初年度にかかる費用として100万~200万円程度は、高校3年の受験までに準備が必要です。なぜなら、奨学金を受け取れるのは大半が進学先に入学した後で、受験料や入学金、前期納付金などの支払いには間に合わないからです。

次のページで、人によってかかる費用の違いや思わぬ出費、先輩保護者の進学マネーにまつわる体験談を紹介するので、参考にしてください。

専門学校コース

合計**225万円**



平均は**私大文系と同程度**
医療系や製薬関連が**高め**

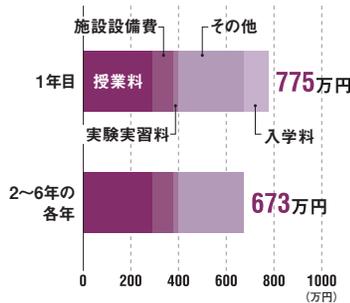
専門学校昼間部の平均額は上記のとおり。ただし、工業、芸術、医療、ビジネスなど専攻分野が多岐にわたり、それによって納付金に違いも。特に看護を除いた医療系や製薬関連の学校が高めで、初年度は160万~170万円台。医療系は修学期間が3年以上の学科もあるので注意。教材費や実習費などが別途かかることも。

2年間の総額の目安

250万円~350万円

私立医歯系コース

合計**4140万円**



大学によって大きく異なり
初年度の平均は**775万円**

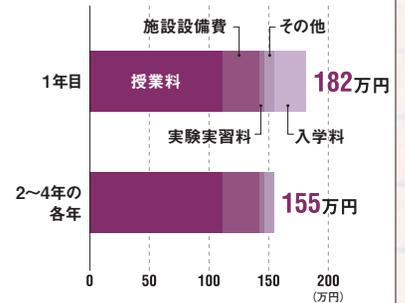
医学部・歯学部の納付金は大学ごとに大きな違いがあり、ここ数年、学費を値下げする大学も増えていきます。修学年数が6年なので、学校によってはトータルで数百万円も下がったケースも。とはいえ、学費の負担が大きいことに変わりはなく、ほかに参考書や資料代、実習・実験の衣類や備品代などもかかります。

6年間の総額の目安

5000万円~6000万円

私立芸術系コース

合計**647万円**



授業料・その他が高めで
2年目以降も**150万円以上**

美術や音楽などの芸術系の平均額は、入学料27万円、授業料111万円、施設設備費などが43万円。実技授業が多いため、授業料以外の費用が高め。実際の納付金は大学や専攻でさまざまですが、楽器や個人レッスン代、コンサート・コンクールの参加費用、画材購入代など、個人的な負担も大きいことを覚悟しておきましょう。

4年間の総額の目安

700万円~800万円

人によって
かかることも!

進学マナー02

① 受験料などの 入学までにかかるお金

推薦入試などを除き、大学受験はセンター試験を含めて複数校を受験することが多く、その費用もかさみがち。さらにこんな出費も…

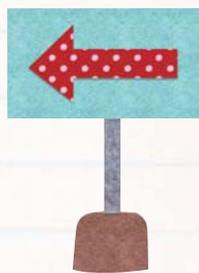
● 受験費用の例

		検定料(受験料)
センター試験(申し込み時)		3教科以上1万8000円 (2教科以下1万2000円)
国立大学	前期日程 後期日程	各1万7000円程度
私立大学	センター利用入試	1回1万~2万5000円程度
	一般入試	1回平均3万5000円程度

想定外の出費の ことも知っておこう

私立大のセンター利用入試は 絞り込まないとお金のムダ!?

私立大の受験料は一般入試よりセンター利用のほうが安いので、つい「あの大学、この学科も」と多くなりがち。うちの子は10以上の大学・学部をセンターで受け、一般入試と合わせ受験料だけで30万円以上。でも、センター利用は競争率が高く合格枠が少ないので、やたらに受けても難しいかも。(私大文系2年の母)



浪人させたくなければ ある程度の捨てる覚悟して

国立志望だと、滑り止めの私立の受験料や入学金も絶対に必要。私は第一志望の前に第二志望の入学手続きの締め切りがあり、知り合いは2校とも入学金を払ったそう。うちは1校だけで済んだけれど、受験料と入学金で50万円くらい捨てる金になりました。(公立大3年生の先輩母)

願書の入手や郵送料のほか 受験料振込代と細かい出費も

受験の願書をそろえるために、志望校+滑り止め校の入学案内を買ったら、それだけで1万円以上。受験料のほか振込代、出願書類を郵送する書留代などの細かい出費も多い。ネット出願だと少し安いけれど、全部の大学がネットで出願できるわけではないし、郵送とネットを併用すると混乱しそう…。(節約は苦手な母)

慣れない土地での受験に 親も付き添い出費は2倍

地方の国立大学受験のため、前年の秋に娘が大学近くのホテルに前泊用でシングルを予約。娘一人で行かせるのは不安になり、私も付き添うためにツインに変更しようとしたら、ホテルはどこも満室。駅近くのホテルを探すのに苦労しました。2人分の宿泊代・交通費で、完全に予算オーバーでした。(受験初心者の母)

② 浪人すると予備校代なども!

できれば避けたいけれど、受験に失敗し「もう1年頑張る」と言われたら、仕方ないかも。でも、そうなると予定外の出費も発生。これもけっこう大変です。

● 予備校の学費の目安

全国規模の大手予備校

コース	入学金	授業料	夏期・冬期講習	年間合計
国立	7万円	文系 42万円 ~44万5000円	5科目 ×夏・冬で 15万5000円	64万5000円 ~67万円
		理系 36万円 ~44万5000円		58万5000円 ~67万円
私立	7万円	文系 40万5000円 ~42万5000円	3科目 ×夏・冬で 9万3000円	56万8000円 ~58万8000円
		理系 40万5000円 ~41万5000円		56万8000円 ~57万8000円

首都圏の私大文系向け予備校

コース	入学金 ほか	授業料	年間合計
東京の 人気大学 コース	個別対応授業あり	82万円	100万円
	集団授業のみ	52万円	70万円
	講座週6コマ選択	22万円	40万円

※夏期・冬期講習を受ける場合、費用は別途かかる(講座料の割引等あり)

意外と安いと思ったら 夏冬の講習代は別料金!

浪人するとわかった時点で、すぐに予備校探し。息子は高校の先輩たちが通っていた予備校がいいというので、そこに決めただけで、最初に一括で納める年間費用は70万円くらい。意外と安く助かったと思ったら、夏休みと冬休みの講習代は別料金で、結局、年間では100万円くらいかかりました。(早とちりの母)

予備校までの学割がきかず 通学定期代が高かった!

高校生や大学生なら定期代も学割でかなり安くなるけれど、予備校生って学割がきかないことが多いみたい(学校や授業日数で異なる)。うちの場合、電車とバスの両方使うため、月に約3万円、6か月定期にしても16万円くらいとすごい金額。この定期代が思いのほか、きつかったです。(神奈川のやりくりママさん)

予備校には行かなくても 通信教育と模試代で…

高3のときは予備校に通っていましたが、浪人したら「予備校は合わない」といって、家で勉強。念のために、通信教育での教材はやらせました。でも、予備校に行かないと勉強の成果が測れないので、夏以降は模擬試験を何度も受けて、その費用も案外かかった。全部で50万円くらいだったかも。(放任主義の母)

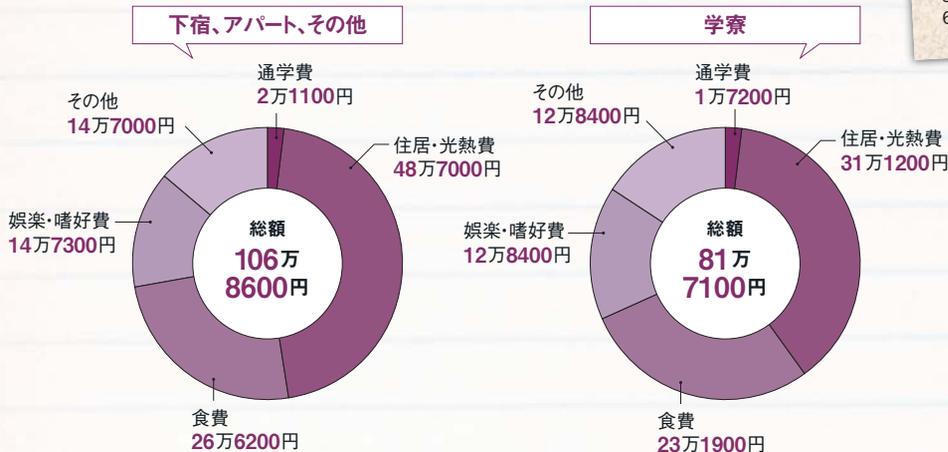
苦手な科目に家庭教師をつけ 年末の追い込みで出費増に

うちの子は勉強が苦手で、予備校に通っても成績は今一つ。仕方なく、10月から古文と英語だけ家庭教師を頼みました。2科目別々の家庭教師にしたので、受験ギリギリの1月までの4か月で40万円近くの出費。浪人したことにより、大学の1年目と同じくらい、余分にお金がかかったと思います。(都内在住の働く母)

③ 自宅外通学だと、 下宿代や仕送りなども

地方から首都圏や関西の大学に進学したり、首都圏から地方の大学に進んだり、自宅外通学になると親の負担も予想以上になることが。

●自宅外の生活費用はいくら？(年間平均額)



※日本学生支援機構「平成22年度学生生活調査(大学昼間部)」より、授業料、その他の学校納付金、修学費、課外活動費を除いた費用

学生寮を出てアパートに。 いつまで続くかちょっと心配

2年生までは大学の寮に入っていました。3年になる時、友人と2DKのアパートを借りてシェアするからと、30万円ほど送りました。シェアハウスって、今流行っているとか。でも、ケンカでもしたら一緒に住みづらいでしょ。いつまで続くのか心配。引越したら、またお金もかかるし。(一人娘を心配する母)

生活費は奨学金でやりくり。 でも、臨時出費が多くて…

家賃と光熱費は親の口座から払っている。食費などの生活費は奨学金で賄い、足りない分はバイトで何とかしているみたいです。でも、ゼミの宿泊や公務員試験用の特別講習など、学費以外にかかる教育費は、そのつど仕送り。今春は民間の就活塾に参加したいと16万円ねだられました。(私立大3年・女子の父)

アパート探しでひと苦勞。 敷金・礼金も東京は高い!?

九州から東京の私立大学に入学。合格後に大学周辺のアパートを探したけれど、都心部なので家賃も高ければ、敷金・礼金などの最初に支払うお金も高額。安いところだと通学に30分以上かかるけど、東京だとそれくらい当たり前といわれ、何とか決定。入居までに生活用品も含め60万円の出費です。(宮崎県在住の父)

寮暮らしでもバイトをできず 仕送りは減らせない

息子は地方の大学で寮暮らし。キャンパスも寮も街から離れていて、周囲にバイトをできる場所がない。街に出れば少しはありそうだけど、交通手段はバスしかなく、最終バスは夕方6時前で、授業後にバイトに通うのもムリ。2年になったら減らせるかと思った仕送りも、まだ減らせません。(埼玉県在住のがっかり母)

民間の学生寮でも食事付きだと 年間100万円以上かかる

わが家は東京の東の端で、大学は西の端。通学に2時間半かかるので、寮に入ることに。3月末に聞いたら大学寮は満室で、民間経営の学生寮に決定。1年目は保証金と年間の寮費、布団や冷蔵庫などのレンタル代で160万円くらい振り込みました。寮は朝晩の食事付きで月約10万円。男の子だから仕方ない。(つぶやく母)

④ 留学・留年、院生など、 いつまでも続く教育費

学校や学部によっては留学希望者も多く、就職のために留年したり大学院に進んだりすることも。そうすると学費は何年続くのか…。ちなみに大学院の費用も大学並み。

●私立大学大学院にかかる費用

	人文・社会科学	理・工・農学	家政・芸術
入学科	22万6251円	23万973円	23万2376円
授業料	59万6128円	80万2626円	87万9946円
施設設備費	8万7778円	11万5163円	22万5390円
実験実習費	9674円	7万8217円	2万5453円
その他	2万9023円	2万5246円	5万1627円
初年度合計	94万8854円	125万2225円	141万4792円

※上記は文部科学省「平成23年度私立大学大学院入学者に係る初年度学生納付金額」の博士前期課程の平均。博士後期課程も同程度の納付金がかかる。
注1) 同じ大学の卒業生などは、大学院の入学金は免除または減額になることもある。

夏季休暇中の短期留学で 費用は総額80万円に

大学の留学制度を利用した長期留学なら、奨学金や助成金をもらえたり、留学先の授業料が免除になることもあるそうですが、個人で行く短期留学は全額自己負担。娘は英語を磨くためイギリスに1か月だけ短期留学し、渡航費・滞在費・学費、申請費・保険などで80万円近くかかった。少し割高だったが、(娘に甘い母)

1年浪人して1年留年、 大学卒業まで6年かかった

次男は都立高校を卒業し、1年浪人して私立大学の建築関係の学部に入學。でも、2年の半ばに、必修科目の一つで留年が決まってしまった。4年になってすぐに就職先の内定も取れたからよかったけれど、結局、卒業までの6年間に、次男には1000万円以上の教育費がかかったこととなります。(子育て終了の親)

大学院に進むと学費のほかに 仕送りが続くのがキツイ

うちは工学部の機械科で、卒業後は当然のように大学院に進むそう。ゼミの先輩も2人に1人は就活をせずに大学院を選択したとか。聞くところ、同じ大学の大学院でも再度入学金がかかり(注1)、学費も大学と同程度。学費の半分は奨学金で支払うから、残りのお金と仕送りを頼まれ、親の苦勞は続きます。(トホホの母)

就職のために留年する学生、 ほんとに多いみたいです

息子は4年の春に内定をもらった会社が急に添わず、辞退して就活を続け、夏以降はさらに厳しくなり、やる気を削がれたみたい。早々に留年を決めました。就職先が決まらずに卒業しても、さらに条件は悪くなるからだと。1年余分にかかる学費は、誰が負担すると思っているのかしら。(怒れる新4年生の母)

いざ
というときに
助かる!

進学マナー03

奨学金の種類と 上手な利用方法



利用者の多くは貸与型だが
学校独自の給付型にも注目を

大学や専門学校などで学びたい学生に対し、学費などをサポートしてくれるのが奨学金の制度です。

高校卒業後の進学率が高まる一方で、家庭の経済状況は厳しくなり、今や大学生の2人に1人は何らかの奨学金を利用しています。しかも、そのうち8割以上は日本学生支援機構の奨学金を受給しているという状況です。しかし、奨学金には大きく分けて4つの種類がありますから、それぞれの家庭や子どもに向けた奨学金を探してみてください。

代表的な日本学生支援機構の奨学金は募集枠も多く、最も頼りになる存在。ただ、第一種・第二種ともに貸与型のため、卒業後の返還に苦しむ人も増えています。一方で、民間団体の奨学金や大学独自の奨学金には、返済の必要がない給付型も多いため、こうした奨学金もよく調べ、条件に合えば積極的に応募しては。

奨学金は入学後に学校を通して申し込むタイプが多いのですが、高校3年のときに申し込む予約採用や、入学前に申し込めるタイプもあります。事前の情報収集が大切です。

A 日本学生支援機構の奨学金

●日本学生支援機構の奨学金(予約採用・大学の場合)

	第一種奨学金(無利息)	第二種奨学金(利息付)
学力基準	高校の成績の評定平均値が3.5以上	高校の成績が平均水準以上や、学修に意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあると認められるなど
家計基準 (世帯収入の 上限の目安)	4人家族 / 給与所得者……収入890万円 それ以外……所得404万円 5人家族 / 給与所得者……収入923万円 それ以外……所得437万円	4人家族 / 給与所得者……収入1142万円 それ以外……所得656万円 5人家族 / 給与所得者……収入1263万円 それ以外……所得777万円
貸与月額	国立 / 自宅通学……4万5000円 自宅外通学……5万1000円 私立 / 自宅通学……5万4000円 自宅外通学……6万4000円 上記の金額以外に、国立・私立や通学形態を問わず、3万円も選択できる	3万円、5万円、8万円、10万円、12万円から選択。私大医学・歯学・薬学・獣医学課程は増額が可能

- こんな人に向いている
- 高校3年間の成績に自信がある人
 - 経済的にかなり厳しい人 など
 - 確実に奨学金を借りたい人
 - 世帯収入が多めの人 など

高校3年から申し込めるが
一種と二種で条件が異なる

公的制度として、国の予算と利用した卒業生の返還金によって運営されているのが、この奨学金です。

卒業後に返還する貸与型で、無利息の第一種と、利息付きの第二種があり、利用条件は大学・専門学校ごとに学力基準と家計基準が決まっています。募集枠は学校ごとに決められていて、第一種は少なめです。

申し込みも学校を通して行いますが、高校3年のときに申し込む予約採用と、大学などに入学後に申し込む在学採用があります。確実に利用したいなら、高3のときに予約採用で申し込むのがオススメです。

*在学採用(緊急・応急利用を含む)の場合、家計基準・貸与月額・返還期間が異なる。
*短大・専門学校の第二種の貸与期間・総額は修業年数に準じ、それに応じた返還月額になる。

●奨学金のスケジュール



※春の定期募集で機構の予算が余った場合、追加補充の採用枠が学校に通達され、最初に採用にならなかった学生から学校が採用選考し、振込は遅くなることもある。

C 民間団体の奨学金

◎受給条件

奨学団体の理念に基づき、学業の成績が優秀、学費の支払いが困難など条件は異なる。関連分野を学ぶ学生や、特定の地域、大学の学生を対象とするものもある。

◎金額の目安

給付型・貸与型のどちらのタイプもあり、奨学団体によって異なる。いずれも年額では数十万円～、月額での支給も多く月1万～5万円程度が一般的。

募集枠は少ないが種類は豊富
入学後に探してみる手もあり

将来、社会や地域に貢献してくれる人材を育成し、経済的に援助する目的で、民間の企業や団体が運営している奨学金。貸与型と給付型があり、募集人数や条件はさまざま。給付型は学業成績・人物・意欲などを総合的に判断して選考され、地域や大学・専攻科目などが指定されている場合も。指定大学では、入学後に大学を通して申し込めるので、調べてみる価値あり。

こんな人に向いている

- 高校時代の成績に自信がある人
- 大学で学びたいことや、将来について面接などでしっかり話せる人 など

B 地方自治体の奨学金

◎受給条件

保護者や世帯主が、その自治体に住所があったり、一定期間居住しているなどの条件が一般的。自治体によっては、所得制限や学力基準を設けているところもある。

◎金額の目安

給付型・貸与型のどちらかは自治体によって異なるが、無利息の貸与型が多く、月額2万～5万円が多い。年額で設定している自治体もある。

貸与型がほとんどだが、
無利息の場合は検討したい

都道府県や市区町村ごとに実施している奨学金で、その地域に保護者または学生自身が居住している場合に利用できます。

日本学生支援機構とはほぼ同条件・同水準の貸与額の場合、支援機構の奨学金とは併用できませんが、独自の制度なら併用可能なことも。無利息の貸与型なら、支援機構の第二種よりも返還時の負担は軽いので、地域の自治体を調べてみましょう。

こんな人に向いている

- 高校時代の成績に自信はないが、経済的に困っている人
- 卒業まで継続的に受給したい人 など

D 大学独自の奨学金

●おもなタイプと実施校

給付型奨学金	実施大学例
1.入学試験の成績が優秀な人向け 入学試験を優秀な成績で合格した人に対し、授業料相当額または一定の金額が支給される。支給期間は1年間が多く、4年間の場合は各年に資格審査がある場合もある。	●早稲田大学 ●明治大学 ●駒澤大学
2.大学での各年の成績が優秀な人向け 前年度の成績が優秀な学生に対し、授業料相当額または一定の金額が支給される。支給期間は1年間が多い。対象は2年生以上が多いが、1年生も対象の大学もある。	●日本大学 ●立教大学 ●福岡大学
3.成績良好で、経済的な理由で修学が困難な人向け 経済的な理由で修学の継続が難しい学生に支給される。保護者の収入合計が一定の基準以内で、成績が一定の評価以上などの条件がある。支給期間は1年間が多い。	●法政大学 ●関西大学 ●同志社大学

こんな人に向いている

- 入学試験や大学在学中の成績に自信がある人
- 成績優秀で修学意欲は高いが、経済的に困っている人 など

貸与型奨学金 ※卒業後に返済が必要	実施大学例
4.経済的な理由で修学が困難な人向け 保護者の年収合計が一定基準以内で、経済的理由で修学の継続が難しい学生に、授業料などの一部を貸与する。1年ごとの申請と、災害時などの緊急採用がある。無利子。	●中央大学 ●近畿大学 ●学習院大学
5.大学提携の教育ローンで在学中は利息分を奨学金として給付 大学が提携する金融機関の教育ローン。在学中の利子相当額を奨学金として年度末などに支給する大学も多い。学生本人や親などが、納付金の範囲で借るのが一般的。	●慶應義塾大学 ●国際基督教大学 ●愛知大学

こんな人に向いている

- 経済的には困難だが、大学での修学に前向きな人
- 学部・学科で上位の成績に入る自信がない人 など

返済不要の給付型が増加中
志望校選びの際に要チェック

大学ごとに独自に実施している奨学金もたくさんあり、おもなタイプは左図のとおり。ここ数年は給付型の奨学金が充実した大学が増え、大学全体で8割以上、私立大学では9割以上が給付型の奨学金を用意しています。条件を調べてチャレンジしては。入試の成績で決まるタイプは人数が少なめですが、入学後に毎年の成績で決まるタイプは給付額が何段階もあり、頑張れば誰にでもチャンスがあります。

入学後に給付型奨学金を受給

淑徳大学 総合福祉学部・実践心理学科
2年 宮川綾根さん

1年の夏に大学からの広報メールで給付型のことを知り、ゼミの友人たちと申し込みました。1年生は前期の成績で選考され、グループ面接を経て特別給付金(年80万円)を受給。一緒に応募した友人も一般給付金(年40万または20万円)を受給できました。2年では1年ときの総合成績によって一般給付金になりましたが、続けて受給でき、勉強の励みになっています。

先輩たちが
教えてくれた!

進学マナー04

資金準備の成功例と 思わぬ落とし穴



高校進学時に中途解約し 大学入学時には後悔しました

長男の大学受験と次男の高校受験が重なったため、次男が私立高校に決まった段階で、保険料を払い続けるのも大変だと思い、次男のこども保険は解約。戻ってきたお金は授業料などに使っていました。そのため、次男の大学受験のときは資金繰りに四苦八苦。こども保険を満期まで続ければよかったですと後悔しました。(千葉県・Mさん)

格言

こども保険の受け取りは
満期後の契約日以降と心得て

これがあれば安心!でも…

こども保険 ①

18歳満期の保険でも 入学金には間に合わない!?

18歳満期の学資保険に入っていましたが、子どもは2月生まれで契約日は6月1日のため、満期のお金をもらえたのは大学1年の6月半ばでした。これ、受験前にわかったのですが、初年度納付金は定期預金を解約して充てましたが、気づくのが遅かったら慌てたかも。学資保険は受け取り日をよく確認したほうがいいですよ。(埼玉県・Yさん)

3人の子にそれぞれ2つの 学資保険で準備しています

うちは自営業なので月収は不安定。積立式の貯蓄は難しいと思い、子どもたちにはそれぞれ15歳と18歳満期で100万円ずつ受け取れる学資保険に加入しました。おかげで高校進学時にも助かったし、高校受験で使わなかったお金の初年度費用にまわせました。一番お金のかかる初年度を乗り切れば、後は何とかなりそう。(静岡の楽道家さん)

教育費のために用意した

② 積立貯金

積立+臨時収入を貯めて 大学入学までに400万円

大学費用のために3歳くらいから毎月2万円ずつ貯めていました。それと、七五三や入園・入学ごとに祖父母や親戚からいただいたお祝い金なども一緒に貯めていたので、高3の秋には400万円以上になりました。途中で引き出さずに続ければ、けっこう貯まるものですね。これで入学後の学費も何とかなりそうです。(しっかり者の母)

親が貯めた貯蓄だけでなく 子ども自身も積み立てを

2人の子の教育資金に、毎月1万円ずつ積み立てを続け、大学入学前には1人200万円近くになりました。それでも4年間の学費には足りないから、できれば地元の国立にしてねと話したら、長女は自分もお年玉などを貯めたお金を出すから、東京の私立を受験したいと…。その気持ちを汲んで希望通りにしたら、今はちょっと大変。(親ばかさん)

せっかく貯めた貯蓄も 締め切り前に引き出せず…

教育費の積立預金は、子ども名義にしていました。でも、入学先が決まって、納付金を支払うために預金を下ろそうと銀行に行ったら、払い出しは預金者本人でないとダメだと。納付金の締め切り間に合わない大変なので、仕方なく、初年度納付金は夫の口座から振り込みました。子ども名義の預金は解約時に注意が必要かも。(ウっかり母)

格言

子ども名義の預金は、解約の
方法を早めに確認し準備する

地元の大学に落ちて 近隣の大学に進みましたが…

自宅から通える地元の大学が専門学校と話していたのですが、まわりの子どもたちが複数の大学を受けるため、うちの子も近隣の大学まで受験。結局その大学しか受からず、寮暮らしになりました。車なら2時間の距離ですが、地方なので電車通学は無理なんです。寮生活で自立心が芽生えたのはいいけれど、仕送りはやっぱり大変。(九州の母)

就職希望から一転し 塾通いで大学受験に…

次女は勉強が嫌いで、高校卒業後は就職すると言っていました。折しも夫の会社は業績悪化で給与が激減し、助かったと思っていたのですが、高3の夏に急に大学に行くといひだし、それからが大変。塾代や入学金などは祖父母に借りてしのぎましたが、入学後に申請した奨学金も第一種がダメで第二種に。今は親子揃ってバイト中。(緊縮財政さん)

こんなはずでは…

と泣くに泣けない 進路変更 ③

国立志望のはずでしたが 特別奨学金をもらい私立に

うちの子の高校では地元の国立大学を受験する子が多く、首都圏の大学に進むのは少数派。息子も地元の国立志望だったのに、直前になって東京の私立も受けたらいいって。受験料や宿泊料はかかったけれど、合格後に特別奨学金で授業料は実質タダとわかり、私立大学に入学。仕送りをしても負担は軽くて助かりました。(北陸地方の母)

格言

子どもの希望は尊重しつつ
親は余裕を持って資金準備

上の子も下の子も…

④

で、家計は大ピンチ

兄弟そろっての進学



推薦入試や地元受験で入学前のお金を節約

2人兄弟ですが、上の子は高校時代にまじめに勉強していたので、大学は推薦入試で決まりました。下の子は地元の国立のほか東京の私立も受験しましたが、私立は地方受験のある大学だけ選んだので、受験料は10万円もかからなかった。下の子も結局、地元の国立に進んだので、学費以外は余計な出費が少なく、助かりました。(東北在住の父)



息子と娘の大学などで9年間も仕送りが続いた

息子は1年浪人して東京の私立大学に進み、2歳違いの娘も東京の女子大に入学。その娘は大学卒業後に1年バイトしながら勉強し、今度は違う大学の大学院に進みました。結局、2人の子の仕送りを9年も続け、私のパートは全部仕送りに。学費と合わせ、こちらでは家一軒建つくらいのお金を使ったことになります。(頑張った母)



3人も子どもがいれば資金繰りも大変です

2歳と3歳違いで3人の子がいます。下の2人は高校受験も大学受験も重なるので、お金の面ではほんとに大変。長男の大学費用は学資保険で何とかりましたが、次男の大学入学時には、長男が入学後に借りた奨学金まで一時的に借りて支払いました。ボーナスで返したけれど、三男の大学に備え、私もパートを始めました。(大阪府の母)



高校時代にお金を使わずその分を大学費用に

子どもは2人ですが、大学でお金がかかるから、「高校は公立にして」と話していたので、2人とも公立高校に進んでくれました。おかげで、それぞれ高校時代はあまりお金がからず、大学費用も貯められました。中学から私立に通っていた友人の子は大学までに1000万円くらいかかったとか。うちだっただけ絶対ムリ。(孝行息子の母)



残念ながら子どもによってお金のかかり方は違います

上の2人は自分たちで大学を選び、あまり親に心配をかけたのですが、末の子は甘やかして育てたため、学校の成績も今ひとつで受験はことごとく失敗。浪人して予備校に通い、次の年の受験は親も一緒になって研究し、試験日をずらしながら10校以上受験。当然、お金もだいぶかかりました。子どもによって大違いです。(疲れた母)

格言

兄弟でも個性や進路によって準備すべき学費は異なるものと考えよう

利用しないともったいない!

リクナビ進学 保護者版

子どもの学びたいことが学べる学校・学部学科探しから、各学校の学費や奨学金、卒業後の進路や受けられる就職サポートなど、保護者の方々に知っておいていただきたい情報が満載。なかでも「学費シミュレーター」は、学費の相場や卒業までの総額がわかるほか、家計情報を入力することで支払シミュレーションができる人気コーナーです。

「学費シミュレーター」の3つの特長

- ① 志望校の卒業までの学費総額や、学部別の相場がわかる
- ② 家計への学費の影響がグラフでわかる&専門家からのアドバイスも
- ③ 子ども3人まで入力でき、学費の重なりが一目瞭然!



助かった? 困った?

事情もいろいろ

⑤

奨学金のあれこれ



月8万円の奨学金は卒業後の返済がきつそう

友人の息子さんは卒業後も就職が決まらず、バイト生活。大学時代に借りた奨学金の返済が大変だと、お母さんが話していました。うちの子もそうなりそう心配です。せめて第一種の無利息ならよかったのですが、入学後の申し込みでは、一種の採用枠は少ないとか。高校時代に予約採用で申し込んでおけばよかったかも。(都内在住の母)



知らないともらい損ねた大学独自の奨学金を受給

娘は第二種の奨学金を受給して教材費や生活費に充てていますが、入学後にクラスの子で大学の給付型奨学金をもらっているのを知り、2年になるときに手続き。ダメもとで申し込むと言っていました。年間30万円の奨学金をもらえることに。学費は今までお負担していますが、仕送りは減って助かっています。(群馬の母)



入試で給付型を受給したのにバイトに明け暮れ、翌年はなし

国立大も大丈夫だろうと先生に言われましたが、息子はあえて私立を受験し、入試の成績で決まる給付型の奨学金が決まった人気大学に入学。でも、理工系のため授業は大変なのに、入学後はバイトに明け暮れ、成績もガタ落ち。それなりの成績を維持すれば4年間もらえた奨学金は、2年生から打ち切られ、叱りつけてやりました。(落胆の母)



大学入学後の申し込みで受け取り時期は秋だった…

兄も日本学生支援機構の奨学金を利用しているので、下の子にも申し込みをさせ、後期の授業料はそれで支払うつもりでした。しかし応募者多数で受給できずがっかり。その後、大学の採用枠が増えて(※)夏ごろに受給が決まり、何とか後期の授業料に間に合いました。こんなこともあるから、1年分の学費は用意すべきかも。(ハラハラした母)

格言

貸与型の奨学金は返済が義務! これを肝に銘じて金額を検討

※p.62の下段の注釈参照